



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

ロータリー：変化をもたらす

RI会長 イアンH.S.ライズリー

2570地区ガバナー 細井保雄

第3グループ
ガバナー補佐 木川一男

「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

第2768例会 2017. 9. 6

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 54-10)

会長 和泉由起夫 幹事 土屋良一

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野(康)君、大崎君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 大野(康)職業奉仕委員
- ・ビジター (越生毛呂) 弓田勝俊様
- ・卓話 奥富 栄会員

【会長報告】

7月末までの出席率の第1位は所沢96.4%、飯能91.7%で5位。平均86%。MyRotary登録は17.1%。一人でも多く登録して頂きたい。

10/24は「世界ポリオデー」。7/21現在「野生株ポリオ」の症例は8例(アフガニスタン5、パキスタン3)。昨年19例。専門家は「安心出来ない」との事。「野生株」と違うウイルスが発生した場合、ワクチン開発をしなければならずお金も掛かる。各国政府、主要ドナー、ビル・ゲイツ氏等により13億ドルの寄付が集まっているようで1,417億円をこれから使い100%の撲滅が出来れば大変なRCの功績になると思っております。

9/20・21 天皇皇后両陛下が揃って行幸啓。熊谷ヘリテージのご宿泊では坂本会員がご接待。高麗神社参拝後のお食事は飯能のヘリテージのお料理だそうです。14:54まで高麗神社。巾着田15:00~15:28。合同庁舎でご休憩後、深谷へ。

ポールハリスフェロー認証カードとバッジを小川晃男、市川昭会員に贈呈します(拍手)。



◎細田(伴)パスト会長：入会39年。兄弟3人で入会しておりましたが今でも東南方向の兄にはお辞儀をしているような状況。お互い気を遣うのもどうかという事で、9月より息子は入間RCに入会する事になりました。ご理解を頂ければと思います。

【幹事報告】

第4回理事会開催。交換留学生について報告。前回議事録確認。10月プログラム承認。「会長報告」から「会長の時間」への変更は保留。吉田(武)指名委員長より次年度副会長の選任について報告。懇親ゴルフコンペ、旅行DVDランチ鑑賞会について報告。コンペはMU扱い。吉田靖さんより著書『平沼専蔵・その正義道』を頂戴しました。

◎(越生毛呂RC) 弓田勝俊様ご挨拶

1969年、飯能の小林貞治特別代表に越生毛呂RCを創って頂きました。第1、第3に分かれ、グループ同士のおつきあいが無くなり、飯能さんにはお目にかかれず親不孝をしております。私は石川補佐と同期に第1Gの補佐を務めました。当クラブも次年度50周年。既にチャーターメンバーは無く、会員16名。50周年には親子の縁を手繰り寄せ、温かいお力をお貸し頂きますよう実行委員長としてお願いに参りました。よろしくお願い致します。



【委員会報告】

◎青少年奉仕委員会

伊澤君

交換留学生グロリアさんは8/21成田到着後から体調優れず、滞在が難しいとの事で帰国されました。飯能はホストクラブとスポンサークラブであり、後者の務めが残っております。8/31 森田洋湖さんが渡伊。以後1年間、何かありましたらご報告します。

【出席報告】無届欠席0 細田(吉)出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	53名	92.98%	98.25%

【M U】

8/31(所沢西) 木川君、川口君、本橋君
 9/2(地区) 和泉君、藤原君
 9/3(地区) 木川君
 9/5(所沢西) 木川君、大崎君、奥富君
 (新所沢) 木川君、中里(徳)君、町田君
 ※私の弟の入会はS 43ではなくS 53です。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・皆様こんにちは。今日は越生毛呂クラブより力を借りて参りました。次年度50周年になりますので色々お世話になりたいと思います。よろしくお祈りします。 弓田勝俊様(越生毛呂)
 - ・越生毛呂RC弓田さんようこそ。 矢島(巖)君、新井君、和泉君、島田君、小川君、土屋(崇)君、土屋(良)君、市川君
 - ・奥富さん、イニシエーション・スピーチよろしくお祈り致します。 小川君
 - ・高2砲丸娘、初の国際大会、日韓中ジュニア大会2位でした！ 大野(康)君
 - ・早退 石井君、吉田(武)君
- 本日計12,000円、累計額145,001円。
 ◎13日例会当番は大野(泰)、奥富会員です。

【卓話】

講師紹介 小川直前会長
 飯能信用金庫支店長をされております。入会は間邊年度の5月。私の年度でやるべきところ、うっかり忘れておりました。全く私の責任です。お詫びも込めてご紹介させていただきます。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 奥富 栄 会員

入会して1年4か月が経過しました。前任の松下より「イニシエーション・スピーチがある」とは聞いていたのですがいつになってもお話しは「急に指名があったらどうしよう」と気が気ではない状態でした。遅れたという事で通常より多く、何を言ってもよいと吉澤委員長からも心遣いを頂いております。

S31年、狭山市堀兼生まれ。私の姓「おくとみ」は奥富地区には無く、堀兼の青柳、加佐志に多くあります。実家は農家。7人兄弟の末っ子、一番上の姉と14才離れています。忙しい環境で、私の面倒は姉達が見てくれました。NHK『ひよっこ』と時代が重なり、農家の生活や姉や兄の学校時代、その頃の記憶が蘇る思いです。1950〜53年の朝鮮特需による神武景気。「もはや戦後ではない」との思いがあったようで、それだけ日本経済が立ち直ってきた証でもありました。冷蔵庫、洗濯機、テレビの三種の神器が登場。私はその頃生まれ、地元の堀兼小、堀兼中を卒業し、兄と同じ川越工業高校機械科に入学。堀兼は農村地域。農家の長男は川越農業、女性は川越商業が山村、二男三男は川越工業に行くのが主でした。高校では製図や旋盤技術を習得する教科が増加。在学中に実感したのは自分が不器用であるという事。私とゴルフした人は知っていると思いますが、バンカーに入ると手で出した球に位置が分からず、進路の決められている者がクラスに数名おりましたが、私は農家の三男。「近隣の製造会社にはでも入れれば」と簡単に思っておりました。高校の思い出としては夏に甲子園のアルプススタンドに応援に行った事。中学の時、在学中の兄の家族として初めて行きましたが、その時は1回戦で敗退。2回目の私が高2の時準決勝まで勝ち残り、地元を沸かせた記憶があります。炎天下のグラウンドで校歌の練習をさせられた事を思い出します。高3になり、自分の可能性を探るため高校までとは違う文系の大学を目指し一から勉強を開始。結果、専修大学経済学部に進学。国際商科大学(東京国際大学)の新設等あり、クラスの3分の1以上が進学する時代になっていました。大学4年間、生田まで2時間近くかけて通学。それなりに勉強しましたが新宿で途中下車して大学に到着しないという事も多々ありました。この高校、大学時代が私の人間形成に大きく影響を与えた時期でした。公務員と金融機関を中心に就職活動。第2次オイルショックの就職難でしたがどうにか飯能信用金庫に就職出来ました。入行時は預金金利が高く、「気付いたら利息で預金が倍に増えていた」という時代。支店長になるまでは飯能以外を回り、H18年、本部営業推進部を経てH21年から飯能南、東飯能、鶴ヶ島、そ



して飯能中央支店支店長に就任。S58年に結婚、1男1女。現在は夫婦2人、ネコ2匹で暮らしております。

大企業の取引先は銀行、中小企業は信用金庫という漠然としたイメージがありますが、信用金庫のルーツは協同組合。19世紀、産業革命中のマンチェスター。奮める成功者も居れば時代の波に乗れない者もあり貧富の差が拡大した時代。こうした中、人々が集団を形成し共同で物品を売買、金融を優遇し合う等お互いに協力しながら暮らす運動が始まった。これが相互扶助、共存共栄の理念を持つ協同組合の始まりです。日本でも仲間内で一定の掛金を出資、プールして、資金を必要としている仲間に貸し与える「無尽」頼母子講が古くは鎌倉時代から庶民の間で利用されていた。それこそが信用金庫の精神的支柱、相互扶助のルーツです。維新後、急速な産業化を進める中、株式組織の銀行は地方で集めた資金を都市部の大企業や土地投資に集中的に移入。地方の中小企業や庶民は自分達の預けた資金を利用出来ず混乱が生じます。明治政府はこうした資本主義の弊害を是正するため、資本原理による株式会社ではなく、欧州の信用組合を見習い、営業地域や融資対象を限定し、1人1票の民主的な運営原理による協同組織の金融機関の創設が重要と考え、「信用金庫法」の前身「産業組合法」が提示され「市街地信用組合」が誕生します。

銀行の原型が生まれたのは17世紀、英国。「手元に多くの金があると物騒だ」と、金持ちの商人はその頃最も頑丈な金庫を持っていた金細工商(ゴールドスミス)に金を預けるようになった。預り証を発行して保管料を取っていた金細工商は、預金者のほとんどが金を引き出しに来ない事に気付き、金を貸し出して約束手形を発行するという事を始める(利息を付けて)。約束手形の上書きに金に変換出来る権利が付いた文言を入れ「信用」という概念を織り込んだ。「一枚の紙切れ」はこうして信用され流通するようになる。紙幣の原型。預かった金を運用し、利益を生む仕組みを見つけた事、これが銀行の始まりと言われております。

地域の発展を優先させるのが信用金庫、株主の利益を優先させるのが銀行。信用金庫も利益を上げないと不安を与え預金も集まらない。銀行は第1に利益、第2に地域の発展。最優先されるものが違うという事ではないか。「信金法」による信用金庫は相互扶助の精神に基づくため利益第一主義ではなく、あくまでも地域発展のために利益を生むという目的がある。ローンを組むなら会員になる必要があり、信金の営業エリア内の従業員300人以下又は資本金9億円以下の企業、エリア内に勤務する従業員、住民に限る。対して銀行は「銀行法」に基づく株式会社。株主の利益が優先され収益性の高い大企業が主な取引先。メガバンクは全国に展開、会員制度が無く一般に開かれない。

銀行と信用金庫はその生い立ちから経営理念が大きく違う事がお分かり頂けますでしょうか。信用金庫は地域の方が利用者、会員となり、互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関。地域のお客様から信頼を得る事、喜ばれる事にこだわらなければ存在の意味さえ無い事になります。

飯能信用金庫は創業65年、総資産1兆2000億円。設立当時は12名の発起人と常勤の夜勤1人、事務担当の女性4名、実際に業務を行う2名の態勢。間口2間半、奥行5間の物置を改装した店舗でS26年7月1日に開業。皆様の事業意欲は高かったのですが当時金融は戦後復興のため国内の基幹産業を育てる事に主眼が置かれており、銀行からは飯能の主幹産業、織物、材木、小売業等になかなかお金が行き届きませんでした。飯能も昨日集めたお金を今日お貸しする、明日お貸しするため今日預金を集めるという業務の繰り返し。それでも創業メンバーが必死にお金を集め、1年目は利益を上げる事が出来ました。利益優先ではないという事を頭に入れておいて頂きたいのです。大事なのは、融資や預金がいくらになったかではなく、如何に多くのお客様と信頼関係を結べているかという事。日頃、会長、理事長も話されています。より良いサービスを提供する事でお客様に満足して頂く事が第一。その結果、地域にも支持され収益が上がる。繰り返しますが、私達は利益を上げるためにサービスを提供するのではなく、地域の繁栄を目指しているという事です。そこが銀行との決定的な違いではないかと思えます。

地域のお客様に育てて頂いた金融機関である事を忘れず、地域に恩返しをする事を喜びに感じる職員でありたいと思えます。今後ともご支援ご指導下さいませようお願い致します。

平成29年10月のプログラム
 (月間テーマ 経済と地域社会の発展月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
10. 4	2,772	卓話「母国ミャンマーについて」 [四つのテスト] 米山記念奨学生 ラー・ピアン・ズアリ様	杉田君 沢辺君 [川口カウンセラー]
10.11	2,773	卓話「飯能市の危機管理について」 [結核・誕生日祝] 飯能市役所 危機管理監 今西規雄様	坂本君 田辺君 [プログラム]
10.18	2,774	卓話「徳川将軍家と江戸城」 龍馬研究会 細井 清様	高橋君 田中君 [プログラム]
10.25	2,775	夜間例会 「津軽三味線」 大松園 18時	吉田(健)君 矢島(巖)君 [親睦活動]